



THE Y'S MENS CLUB OF KOBE PORT
KOBE PORT
 THE SERVICE CLUB TO THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
 "TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Chartered May 8, 1988

神戸ポートワイズメンズクラブ

〒650-0001 神戸市中央区加納町 2-7-15
 神戸 YMCA 本部事務局
 Tel 078-241-7201
 Fax 078-241-7479

E-Mail: houshi@kobeYMCA.org
 http://www.kobeYMCA.org/

第1例会 第2木曜日 7:00-9:00P.M.
 第2例会 第4木曜日 7:00-9:00P.M.

第 305 号

2013 年 5 月

山田 滋己 神戸ポートクラブ会長 『伝統を守りつつ、新しい開かれたクラブへ!』

Philip Mathai 国際会長(IP)(インド)“Be the light of the world” 「世を照らす光となろう」
 Oliver Wu アジア地域会長(A P)(台湾)“Years bring wisdom” 「歳月は Y's をワイズ(賢者)にする」
 成瀬 晃三 西日本区理事(RD)(名古屋クラブ)“Let Y's men Light Shine before Others, In the club, in the community, in the world”
 「先頭に立ってワイズの光を輝かそうクラブで、地域で、国際社会で」
 上野 恭男 六甲部部长(DG)“With the heart filled creative evolution. Let us enjoy Y's life. faithfully and constructively!”
 「柔軟な創造で愚直に積極的なワイズライフを楽しもう」

5月強調月間 (L T leader-training)

ワイズメンに対するクラブ内のトレーニングが出来ているでしょうか。
 ドロップアウトを減らすためにも考えてみましょう。

成瀬晃三 理事(名古屋クラブ)

< 5月第1例会 >

5月はLT leader-trainingの月、ポートクラブチャーター25周年記念日例会として開催します。30年に亘るタイワークキャンプ参加リーダーと、広瀬献児・頼子夫妻による現地訪問報告。ポートとしての国際を振り返り、タイワークキャンプ30年を総括します。

< 記 >

日 時: 2013年5月9日(木)19:00~21:00

場 所: グリーンヒルホテル神戸

- 開会点鐘: 山田滋己会長
- ・聖句/祈祷/ 山崎ワズ
- ・会食
- ユースリーダーによるタイワークキャンプ報告
- 「タイワークキャンプ30年」を語る
- ・今月の誕生者お祝い及び諸連絡
- ・今月のうた: 齋藤 勲ワズ
- 閉会点鐘: 山田滋己会長

< 5月のお誕生者 >

18日 大野 勉 ワズ 19日 細見 俊雄 ワズ
 31日 大野 智恵 ネット

< 4月出席状況 > 出席率: 94.1%

(出席総数) 16/17(出席率対象会員数)

出席数: メン 15、メイクアップ1、広義会員0、
 メネット 1、ゲスト 1、ビジター 0 計18名

< 現在のファンド・累計 >

	4月	累計
ニコニコ	10,000円	143,158円
物品販売	0円	39,636円

今後の予定

- < 神戸 YMCA127周年記念日礼拝 >
 5月8日(水)18:30~ 神戸 YMCA チャペル
- < 5月第1例会・25周年記念日例会 >
 5月9日(木)19:00~ グリーンヒルホテル神戸
- < 六甲部次期準備役員会 >
 5月11日(土)13:30~ YMCA 会議室
- < 5月第2例会 >
 5月23日(木)19:00~ YMCA 会議室
- < 6月第1例会 >
 6月13日(木)19:00~ 須磨・潮濤荘
- < 第16回西日本区大会 >
 6月22日~23日 名古屋能楽堂他
- < 6月第2例会 >
 6月27日(木)19:00~ YMCA 会議室

第1例会出席者には 2,000円ご負担頂きます。正会員の欠席、及びメネット・ゲスト他出席連絡は、前々日までに坂本連絡主事まで。

《 5月の聖句 》

< あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そしてエルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、私の証人となる。 > (使徒言行録 1:8)

今日5月9日はキリスト教では「昇天日」といわれる、キリストが復活後天に上げられた日です。そして、19日はペンテコステと言われる聖霊降臨日で、そこからキリスト教が世界に広まったとされます。キリスト者は、今日の社会に在って、何故世界に遣わされているのか自らの存在を問い、人々と共に持続可能な世界を目指して歩む努力をせねばなりません。(Rev. Y)

2012-2013 年度クラブ役員

【会長】山田 滋己【副会長】佐野 睦【書記】鈴木 誠也【会計】小田 浩【監事】山崎 往夫【連絡主事】坂本庸秀

< 会長メッセージ「強調月間における学びの時」 >

山田 滋己

今年度は強調月間の活動として、何度か学びの例会を実施し、4月は武田寿子神戸 YMCA 会長から「YMCAにおける若者のエンパワーメントについて」と題してスピーチを頂き、YMCA サービス ASFの学びの時を持ちました。

一番印象に残ったキーワードは、“若者が希望をもてる社会の構築”であり、現代社会においても大切な事であると、改めて考えました。「今時の若い者は」という言葉を、何度か聞いて育ってきましたが、最近時々、自分が同様の事を言っていることに気がきます。きっと先輩方は、何時の時代も、何倍にも経験を積んで大きくなり、後輩が言葉のように見えるのだと想像してきました。

しかしながら、物事は“言うは易く行は難し”だと思います。現代社会に目を向けた時、“若者が希望をもてる社会”で無くなっているのだとしたら、昔と変わった部分を良く考え、アイデアを出し続けて、試行錯誤であっても実行して行くことこそ最も重要なのだと、改めて教わった気がしました。

我々ワイズメンズクラブで取組む課題は、答えが1つに定まるものは殆ど無いと思います。メンバーみんなで考え、実行して行くことを絶やさぬクラブでいたいと思います。これからも学びの時を忘れずにしたいと考えますので、皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

< 4月第1例会報告 >

4月11日(木)19:00~21:00 グリーンヒルホテル神戸
司会：森恭子ワイク、4月はYMCAサービスの月です。多くの団体は新年度に向けて新体制が始まります。我々も新しい気持ちでスタートしましょう。

聖句・祈祷：山崎往夫ワイク 3月31日イースターを迎えました。その意味を考え、また、東北の地にあって今尚苦しんでおられる方々の為にも祈りましょう。

今月のスピーチ：武田寿子神戸 YMCA 会長

「YMCAにおける若者のエンパワーメントについて」

世界 YMCA 及び APAY (アジア太平洋同盟) で起きている問題。若者が自分で考え、自分で生活する生活空間、余暇、知識、が乏しい現状。

世界の YMCA は 2012 年、119 カ国 12,000 か所に拠点をもち、5800 万人の会員 9.6 万人のスタッフを要す。体育、スポーツの取り組みは進んでいるが、ジェンダー、性教育、カウンセリング等が不十分である。日本は比較的に良い仕事をしている。専門学校はあるが、発信力が弱い、後方支援がない事、ユースの参加が少ないことが課題である。

神戸 YMCA の取り組みは進んでいる。キャンプリーダーは多いが、卒業後戻ってこない。同盟総会は、出席者の3分の1をユースとして、意思決定に参加してもらうことになっている。

ゆるやかでも変革することを目指し、「努力が報われる社会」「仕事以外の絆が作りやすい場所」としての YMCA を目指す。

125周年でユースが一丸となって盛り上げてくれた。ユースプラザの運営、最近の啓明学院を含む東北支援での

取り組み等、継続は力なり、希望は努力によって生まれる。と、締め括られた。

本日は小田ワイク 紹介による

ゲストとして小倉英子さんを迎えた。「本日は若者のエンパワーメントのお話とのことで伺いました。20年前に神戸で1人息子を交通事故で亡くし、息子の慰霊のつもりでジャカルタにてホテルを経営しているのですが、宿泊して下さった小田さんから YMCA のユースについてお話を聞き、紹介され、興味を持っていますので伺いました。」

今月のうたは、「かえろかえろと」1925年北原白秋作詞、山田耕作作曲、「かえろかえろとなに見てかえる 寺の築地の影を見い見いかえる かえろが鳴くからかえろ」3番には「葱の小坊主たたきたたきかえろ」とあり、玉葱ファン্ডを思っとうれしくなりました。

(齋藤記)



< 4月第2例会報告 >

日時：2013年4月25日(木)19:00~21:00

場所：神戸 YMCA 第2会議室

出席：大野、小田、郡、齋藤、坂本、佐野、鈴木、丹羽、橋本、森、山崎、山田、12名

1)4月出席率確認：(第1例会出席15+第2例会メイトップ1名)÷17=16/17=94.1%

2)今後のスケジュール、出席者確認、調整

- ・ 5/9(木) 第1例会(25周年記念日例会)
 - ・ 5/11(土)六甲部 次期準備役員会
出席予定：山田次期部長、大野次期部書記、
山崎次期部会計、佐野次期会長、
森 Y サ・ユース事業主査、
 - ・ 5/23(木)第2例会
 - ・ 5/25(土)宝塚クラブ 25周年記念例会：小田、齋藤、
佐野、水野、山田 5名出席予定
 - ・ 6/13(木) 第1例会 年間の振り返り移動例会
於)須磨・潮濤荘
 - ・ 6/22-23 西日本区大会：物品販売出店
大野、小田、齋藤、鈴木、橋本、山崎、山田、
山田メット、合計 8名参加予定
- 3) 5月第1例会(2013/5/9) 25周年記念日例会
「タイワークキャンプ」参加リーダーと、広瀬
兎・頼子夫妻による報告。ポートとしての国際を
振り返り、タイワークキャンプ 30年を総括する。
- 4) 山田次期六甲部長としての準備役員会と六甲部
部の内容について提案された原案について検討し
た。
- 5) 佐野次期クラブ会長から、主題、活動方針、役割
体制、年間計画の案が提示され、予算を含めて六
甲部事務局との関係を明確にしていくように協議
された。(鈴木記)

<2013-14年度 西日本区第1回準備役員会報告>

日時：2013年4月13日(土)~14日(日)
場所：ホテルクライトン新大阪
出席：2012-13年度及び次期 西日本区役員
特記事項：“西日本区理事および役員出席プログラム
との日程調整等配慮のお願い”、“事業主任招聘プロ
グラムの、部・クラブによる旅費等の負担配慮の願
い”等の協議書について協議し、今後部・クラブで
共有して行くことになった。

(山田記)

<芦屋クラブ 15周年記念講演会>

4月21日(日)14時~ 芦屋ラポルテホールにて、
関西学院と神戸女学院の同窓会芦屋支部の後援を
得て正に市民に向けての講演会を開催されました。

まずは神戸女学院音楽部OG「プティ・タ・プ
ティ」による華麗な歌声を聴き、関西学院ルース・M・
グラーベル院長による「杯があふれる人生」と題す
る講演。詩篇 23 編より「恵みと悲しみについて、人
は感謝するところで、自分は幸せになれる。一日の
感謝と感動を書きとめなさい。良き友人、仲間を増

やしなさい。そうすれば明るくなるでしょう。」 豊
かな気持ちで与えられた時間を過ごすことの大切さ、
プラス思考で貫く生き方の大切さを語られた。最後
に島田会長による芦屋ワイズメンズクラブの説明は、
PPを使った非常に分かりやすい内容で、芦屋地
域の中の活動を
一般市民に丁
寧に解説され
た素晴らしい
内容でした。ポ
ートクラブか
ら8名参加。
(齋藤・鈴木
記)



<クアラルンプールに招かれて>(3)

マレーシアは車社会で、どこに行くにも車が無く
ては不便です。でも、バスも発達していてクアラル
ンプール市内は勿論、郊外へのバスも実に多くの路
線があります。鉄道は北はバンコックから南はシン
ガポールまでありますがクアラルンプールから東西
に行くには郊外電車で行けるし、バスステーション
が国際空港なみの規模でクアラルンプールの街の
郊外 4か所などに行き先別にあり、例えばマラッカ
までは 2.5 時間で、15 分毎に色々なバスが出ていま
す。車社会ではあっても、車検の無い国なので、タ
クシーもバスもたまに新車に乗れたとしても中には
ガタガタで大丈夫かと思われるようなものも走って
います。

高速道路は 2 3 車線でクアラルンプール近郊で
は網の目のように曲がりくねってはいますが、多く
作られています。生活道路は歩道が少なく、車優先
社会を感じさせます。

マレーシアの人については先に書きましたが、食
文化もインド、中華、マレーとそのミックスの多彩
な料理があって、特に中華とマレー料理のミックス
されたものがニョニャ料理と言われ、それ専門のレ
ストランもありました。インド料理もマレー料理も
辛いのが特徴で、ニョニャ料理はその中間と言うこ
とでしょうか。

(山崎往夫)

<「心のケアを考える」講習会>

4月20日(土)13時より神戸 YMCA チャペルに
て、西日本区メネット事業による講習会で、六甲部
メネット事業主査からの呼びかけだったのですが、

アピール不足だった為、折角の盛りだくさんの内容の割には参加者が少なく残念でした。

1部は、啓明学院高校と神戸 YMCA リーダーによる東日本大震災復興支援ボランティア活動参加の貴重な体験報告。2部は、熊本 YMCA からの出向で同盟スタッフとして仙台 YMCA 総主事の役を担われて全面的に復興支援活動を指揮して来られた光永尚生氏による「2年経って今わかってきた現状」について分かりやすく説明されました。第3部は、金城学院大学多元心理学科教授の宗方比佐子氏による「心のケアを考える」講演会。被害者の心、支援者の心構えと注意点等、「心の傷を癒す」大切な学びを頂きました。(鈴木記)

<理事通信 5月号からの拾い読み>

故成瀬晃三理事の訴えたいことをキャビネットのみなさんが想像しながらまとめた理事通信です。

マニラでのアジア大会参加のアピールとユースコンボケーションへの参加者派遣募集。

西日本区事務所事務職員の北村久美子さんが定年退職され、新たに坂本千春メイト(大阪センテナアルクラブ)が事務職員として勤務されることになりました。しばらくは引き継ぎの為お二人が勤務されます。

西日本区大会のメモリアルアワーへの連絡依頼がありましたので、ポートクラブとして故石坂哲郎君を紹介しします。

東日本大震災復興支援絵はがきの購入・販売協力と、福島県山元町のいちご直販売への協力依頼がありました。

神戸 YMCA マンスリーレポート

1. 2013年イースター早天礼拝、開催

去る3月31日(日)に神戸 YWCA と共催で東遊園地にて開催されました。会員、職員などを中心に約150名が集りました。今年は日本基督教団神戸雲内教会の床次(とこなみ)隆志牧師をお招きし、「夜が明ける」と題してメッセージをいただきました。阪神地区においてもイースター礼拝が西宮の甲東教会において行なわれ、約60名の方々が参集されました。

2. 新年度スタート!

4月1日(月)から新年度がスタートしました。

1日の朝は保育園の入園式が行なわれ、3日(水)には専門学校で日本語学科、ホテル学科合同の入

学式。11日(木)にちとせ幼稚園で、翌12日(金)に西神戸 YMCA 幼稚園で入園式が行なわれ、多くの新入園児を迎えました。また、4月11日(木)には高等学院で入学式が行なわれ新入生を迎えました。新たなメンバー、リーダー、講師によって2013年度がスタートしました。

3. 全国 YMCA の動き

1) 公益法人制度改革への対応

この4月から新たに富山 YMCA、名古屋 YMCA、奈良 YMCA、YMCA せとうち(岡山)が公益財団法人となり、残る YMCA も少なくなってきました。

2) 総主事交替の YMCA

仙台 YMCA 光永尚生氏 → 村井伸夫氏
名古屋 YMCA 加藤明宏氏 → 中村 隆氏

3) 世界 YMCA 同盟から Resource Mobilization Project への支援依頼

チェンジェージェントとしてアジアのユースを支援することが要請されていて、神戸 YMCA はタイ・チェンマイ YMCA のユース、May さんを支援することとし、3500US\$を負担します。

4) 「日本 YMCA 人物事典」~われらまた こぞりて起たん~出版

YMCA を守り育ててこられた先人の事跡をまとめた人物事典が出版されることになり、神戸 YMCA も協力することにしました。神戸 YMCA 関係者も多数登場します。一冊2000円ですが、皆さんにも購入いただければと願っています。

4. 今後の予定

1) 127周年創立記念日礼拝

日時: 5月8日(水) 午後6:30~8:30

場所: 神戸 YMCA チャペル

メッセージ: 「神の呼びかけに応える YMCA」

山本俊正氏(関西学院大学)

2) 第28回チャリティーゴルフ

日時: 5月15日(水)

場所: 千刈カンツリー倶楽部

会費: 20,000円

3) 2013年度定期総会

日時: 5月31日(金) 午後6:30~8:30

場所: 神戸 YMCA チャペル

(水野雄二)